

海洋深層水利用学会 特別シンポジウム

水産分野における海洋深層水へのさらなる期待

平成20年9月29日(月) 14:30~17:45 東京海洋大学楽水会館

開催趣旨

海洋深層水は、塩・ミネラル含有、無尽蔵、再生・循環という海水の三大特性のほか、低温、清浄、富栄養、水質安定の四大特性が加わり、近年は「使える海水資源」として、農林水産、食品加工、医療・健康などの分野で活用されている。このうち、水産分野では、海洋深層水のもつ上記の四大特性をフルに活用できることから、魚介藻類の生態研究・養殖から流通・加工に至るまで、様々な観点から研究と実践が行われてきた。しかし、近年、水産分野においても技術の進歩が目覚しく、社会問題として食の安心・安全への関心が高まる中で、海洋深層水にはさらなる期待が寄せられている。そこで、今回、東京海洋大学で本学会を開催するに当たり、沿岸湧昇促進、応用微生物、「借り腹」親魚養成、閉鎖式循環養殖および食の安全の分野でご活躍中の学内研究者に特別ご参画いただき、新たな、そして責任ある海洋深層水の利活用の途を探る。

0 趣旨説明 (14:30-14:40)

東京海洋大学 海洋生物資源学科 准教授 藤田 大介

1 「人工湧昇流による磯焼け改善調査」(水産庁)の概要について(14:40-15:10)

(独)水産総合研究センター水産工学研究所, 東京海洋大学 客員教授 桑原 久実

2 応用微生物学的見地から見た海洋深層水と海底堆積物の有効利用(15:10-15:40)

東京海洋大学 海洋科学技術研究科 応用生命科学専攻 教授 今田 千秋
(休憩)

3 閉鎖循環式養殖システムへの海洋深層水利用の可能性(15:50-16:20)

東京海洋大学 海洋生物資源学科 助教 遠藤 雅人

4 海洋深層水と借り腹養殖技術を組み合わせると何が出来るか?(16:20-16:50)

東京海洋大学 海洋生物資源学科 准教授 吉崎 悟朗

5 食の安全性からみた海洋深層水への期待(16:50-17:20)

(東京海洋大学 海洋科学技術研究科 食品流通安全管理専攻 教授 日佐 和夫)

質疑応答・総合討論 (17:20~17:45)